

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎信仰的学びの機会を増やす。
- ◎礼拝の充実を目指す。
- ◎地域との交流促進。

聖語 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。(1テサロニケ5:16-18)

神戸昇天教会月報 50年

～クリスマスはうれしいネ～

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。(Iヨハネ4:10)

司祭 ミカエル 小南 晃

1964年12月1日、神戸昇天教会月報第1号が発行されました。今月号で丁度創刊から50年を迎えたこととなります。12月号が創刊号であるということは、言うまでもなく新しい教会暦年を迎えるにあたっての発行という事でしょう。

号数で言えば今月号が601号となる筈ですが、実際には596号で5号程足りません。恐らく休刊または合併号として発刊された号もあるのでしょうか、ほぼ毎月欠かさず発行されてきたということです。

文面から伺える当時の熱気

創刊号の内容は、当時主任司祭の覚前信三司祭のメッセージ。そして信徒の欄が設けられ、当時教会委員であった野木三郎兄の「証し」が掲載されていました。そこには同兄が先達の信徒から受けた、まさに霊的指導とも言うべき信仰への導きが語られており、その証しからは当時の信仰生活、祈りと信仰的交わりの真摯さが伺えます。

また質問箱コーナーが設けられ、この月の質問は「アーメンとはどういう意味ですか？」でした。そして行事予定、教会委員会や婦人会、会計の報告、個人消息、となっています。B4判2頁にビッシリと文字が書き込まれたガリ版刷で、それを見るだけでも月報編集と発行への意気みが感じられます。

そしてその編集後記には「昇天四

季報を『月報』に衣替えして毎月出そうということになった・・・この月報が、幾分なりとも私たちの主にある交わりの場となり、証しの場となることを望んでいる。(古本)」とありました。

クリスマスはうれしいネ

さて月報第1号のクリスマス・メッセージは覚前信三司祭が記されていました。題は「クリスマスはうれしいネ」。軽妙な文章の中に深いものが感じられますので、一部を引用してご紹介させていただきます。

「クリスマスが来て嬉しいのは子供たちでしょう。お小遣いやプレゼントがクリスマスの朝枕もとに置いてあるのを見付けた時、本当にうれしかった。大人のうれしさは違う。神の御子が人となられた意味が判って、生ける神様と出会った時の喜びである・・・

或る先輩は神学校を卒業しても何かしらボンヤリ神様が判るだけだよと教えてくれた。私はソナことで伝道者に成れないと思った。だから一生懸命で勉強した。

そして神様はだんだんボヤケテ来て遠のいて行った。神様は無限で自分は有限であるから、神様が判らないのは当然であることが判った。

ところが偉い先生が神の御子が処女マリアより肉体を受け、人性をとった話を神学的に説明して下

さった。繰り返して何日も考えた。私なりに言葉を置き換えて考えた。無限な神様が有限な人間が真実にとられたのであるから、無限と有限、神と人とが一体になったのである。イエスは神かつ人である。夜が明けたように思った。イエスを見れば神様が判る。イエスに聞けば神様の声が聞こえる。私はクリスマスがうれしくなった・・・

ところが後日談がある。私の眼を開いて下さった先生と別れる数日前、私は先生に自分は確信をもって伝道が出来ると言ったら大変に喜んで下さった。

ところがその後が悪い。先生は私に一つの質問をした。『お前は神に罪を犯すことと神を愛することのどちらが多くできるか』と言われた。

私は考え込んだ。先生は同じ質問を繰り返して聞かれるので、『それは神を愛することです』と答えたら、『お前は利口だね』と言って、プイと向うへ行ってしまった。

私はしまったと思ったが、それで目が醒めた。

そして本当にうれしくなった。」

時を超えて信仰を受け継ぐ

当時の月報の文面を見て参りますと、総じて活気、熱気にみまがっています。50年前の月報から当時の教会生活、信仰生活を偲びながら、今一度、私たちが忘れてしまっているものはないか捜すことができるのではないかと思った次第です。

今月、降臨節のこの時にあたり、神戸昇天教会月報第1号を会館ホールに掲示いたします。どうぞご覧ください。

定例集会

日	午前7時	早朝聖餐式
"	9時15分	教会学校
"	10時30分	聖餐式・説教
午後	6時	夕の礼拝

火	午前10時30分	聖書研究会
土	午前10時30分	教会掃除

(ご奉仕をお願いします)